

令和5年度 子ども心理学科 卒業生を囲む会

令和5年7月6日(木) 実施

 ☆深澤 広夢さん 平成29年度卒業
 就職先：蛸が丘保育園 保育教諭

 ☆白鳥 稚昌さん 平成30年度卒業
 就職先：静岡若草幼稚園 保育教諭

 ☆見崎 瑠夏さん 平成30年度卒業
 就職先：児童養護施設 松風荘 施設保育士


「囲む会を終えて」

子ども心理学科1年 風間 祐希

今回、保育園・こども園・児童養護施設で現在勤務されている、卒業生のお話を聞かせていただきました。学生生活でやっておくべきこと・やっておいたらよいこと、仕事をしていて大変なこと・やりがいについて学ぶことができました。私が今回のお話の中で一番印象に残っていることは、「失敗を恐れなくて、苦手なことにもチャレンジする精神が大切」だということです。私は手先が不器用で、製作の授業などが苦手です。しかし、卒業生のお話を聞き、少しずつでも苦手なことにも積極的に挑戦していきたいと思いました。

また、就職についてのお話では、職場の環境や雰囲気など、自分に合っているかどうか大切だとおっしゃっていました。これから行う実習では、子どものことはもちろんですが、周りのことも見るように視野を広げ、一回一回の実習を大切に組み立てていきたいです。単位実習以外にも、自主的に実習へ行き、経験を重ねていきたいです。

今回、聞いたお話を今後の学校生活に活かして、「理想の保育者」になることができるよう努力していきます。



卒業生からのコメント

数年前は自分が先輩の話聞いていたのに、後輩を前にすると社会人なんだという自覚と責任を感じました。

学生時代は大切だと思わなかったことが、社会人になると大切であることが多いので、今できることを地道に努めてほしいです。また、学生時代の挨拶運動が強く思い出として残っています。

社会の中では挨拶が最初のコミュニケーションとなるので、「挨拶修行」を徹底してほしいです。

そして、「何か一つでもよいので、強みを持って」社会に羽ばたいて欲しいと思います。

8月の行事

- 1日(火) 1TW・CW第1期実習 ~8/5(土)
- 3TW第5期実習 ~9/9(土)
- 5日(土) SPオープンキャンパス 13:15~
- 7日(月) 2ORTメディックファーストエイド ~8日(火)
- E・CP・ORT前期試験、補講授業
- 11日(金) 山の日、夏季休校 ~16日(水)
- 24日(木) J検・B検CBT 15:00~
- 26日(土) SPオープンキャンパス 13:15~
- 28日(月) CW・TW(1・2年) 前期再開

9月の行事

- 1日(金) 登校日(全学科) 防災訓練、大掃除
- 2日(土) 貯水槽定期清掃
- 4日(月) E・CP・ORT追再試補講期間 ~9/15(金)
- 14日(木) オープンキャンパス 17:00~
- 17日(土) オープンキャンパス 13:15~
- 18日(月) 敬老の日
- 19日(火) 後期講義開始
- 21日(木) CW・TW卒業生を囲む会
- 23日(土) 秋分の日 社会人常識マナー検定
- 26日(火) 秋季スポーツ大会
- 床面定期清掃
- 27日(水) 第2回法人理事会
- 28日(木) ORT卒業生を囲む会
- J検・B検CBT 16:30~
- 30日(土) オープンキャンパス 13:15~

子ども心理学科2年生 保育実習Ⅰ

令和5年6月12日(月)~6月24日(土)

「保育現場から学んだこと」

子ども心理学科 川口 涙

私は、(福)羊之舎恵愛会 恵愛保育園で『子どもの成長発達をとらえ、援助方法を学び実践する』を目標に保育実習を行いました。2週間の実習を通して、保育者が子どもと関わる際、保育者の行動には意味があるということ学びました。

例えば、午睡で子どもを寝かしつける時、ぐっすり眠れるよう体をトントンたたくのではなく、安心して眠れるようにトントンするという意図を教えていただきました。また、絵本の読み聴かせでは、年齢によって配慮する点は違うが、登場人物によって声を変えたり、指差しをしたりとアドリブを入れることで、子ども達は絵本をより楽しむことができるということを実践から学びました。

このように、保育者の働きかけや援助の意味や意図を常に考えながら子ども達と関わるのが大切だと分かりました。実習中、保育室を通り過ぎると「いい先生!」と呼んでくれたり「今日は〇〇組?やったー!」と喜んでくれたりする子ども達がとても可愛く、前向きな気持ちで実習に取り組むことができました。

今回学んだ「保育者の援助にある意味」を次の施設実習で生かしたいと思っています。

令和5年度 新任職員 あいさつ

企画広報室 伊藤 理恵

7月より総務部企画広報室に入職しました、伊藤理恵と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

前職は、高速道路の会社で、新東名高速道路の工法や、東名の維持・管理、保全に関してなど、そこで働く人々の仕事の様子を対面のご案内や、オンライン見学などで皆さまにお伝えする仕事をしていました。

このたびは、ご縁があった中村学園の広報として、この学校の特徴やすばらしさを高校生や、地域の方々にお伝えできればと思っています。

時々皆さんの授業風景を見学に行くことがあるかもしれません。中村学園の記憶に残る素敵な写真を撮って行きたいと思いますので、いつもの自然な様子を見せて頂けたらと思います。

自分の子供もちょうど学生の皆さんと同じくらいの年齢です。何かあれば、お気軽にお声がけください。

★ 進路室より

ラグビー名指導者に学ぶ「成長プロセス」

進路室長 橋野 幸男

9月、ラグビー「ワールドカップ フランス大会」が開幕します。その日本代表には、帝京大学ラグビー部のOBが8名選出されている、とのこと。

このラグビー部といえば、大学選手権で史上最多の「9連覇を達成」(2009年度～2017年度)し、さらに2021・2022年度と2連覇中です。その同部を1996年から2022年3月まで監督として率いたのが、岩出雅之氏(現在は、同大学スポーツ局局長)。彼のインタビュー記事が、「日本経済新聞」7月3日の「創論」欄、『若手の能力 どう生かす』に掲載されました。タイトルは、『「なりたい姿」に目標設定』です。一部を紹介します。

＝ 様々な経験を持つ選手、それぞれの力を伸ばすには自分自身を知る「メタ認知」が重要と考えていた。自らが秘めている可能性に気づかせてあげれば、若者は自ら動き出す。

まず、自分になりたい姿を考えさせる。大学時代に何をを目指すか、現役を引退するときはどうありたいか。この「ダブルゴール」と名付けた目標設定を全員に課していた。

2つの目標をイメージして自らの行動を振り返る「リフレクション(内省)」の時間も設けてきた。例えば、試合でうまくいかなかったプレーについて、背景にある自分たちの行動原理にまで遡って考える。こうして「体験を言語化して「経験」に変えることで、今後の教訓にできる。～

20年前後からは「Z世代」への接し方も意識した。Z世代には社会問題への関心などの長所がある一方、失敗を恐れる傾向を感じた。アプローチをひとつ間違えると心を閉ざしてしまう。まずは不安や警戒心を和らげたうえで、チャンスを与えて成功体験を積ませる。易しすぎる課題ではなく、頑張ればクリアできる程度がいい。目標が現実になりそうだと感じれば、チャレンジする気になってくる。～

なお、聞き手は次のようにコメントしています。

＝ 学生が自ら動き出そうとする内発性を重視してきたという。自分の頭で考えさせ、体験の言語化を促す。上から答えを押し付けないう姿勢は、従来の指導者像とは一線を画すものだ。＝

いかがでしょうか、なぜこの記事に興味を持ったかは、言わずもがなです。皆さんが本学の「産学連携教育プログラム」の下、「実習」「インター

ンシップ」「ボランティア」や「フィールドスタディ」で「経験学習サイクル」を回す(具体的経験→リフレクション→概念化→新しい状況への適応)、「その経験をストーリー化」し「言語化」(外化[がいか。Externalization]、アウトプット)する。～岩出氏の発言のエッセンスは、皆さんのこうした成長プロセスと同一ではないでしょうか。

そして、「経験学習サイクル」などの「方法論」を、学生も教職員もより意識する、学科ごとの特色を加えて深化させる。それが、現在のみならず、学生が将来、自立的に成長を図るときに大いに役立つのではないかと考えます。

★ 企画広報室より

企画広報室 植田 和華

いよいよ夏本番！本学は今年も夏のスペシャルオープンキャンパスを開催中です。8月5日(土)の第2弾「卒業生が語る！業界・仕事の魅力」では、本学卒業後数年が経過した卒業生がゲストとして来校し、実際の仕事の内容や職場の様子を紹介しながら、専門学校の学びが就職後どのようにいかされるのかお話ししてくれます。体験授業では卒業生がデモンストレーションやレクチャーをしてくれるなど、ゲストと一緒に楽しみながら仕事について知ることができる内容となっています。

8月26日(土)の第3弾「プロと一緒に現場で使える専門スキルを体験！」では、プロとして長く業界で活躍している職業人の方をゲストにお招きします。仕事で使える実践スキルをゲストが直接伝授してくれ、また、将来のキャリアアップもわかるお得なスペシャルとなっています。

夏のスペシャルオープンキャンパスは、現場の方の生の声が聞ける貴重な機会であり、続けて参加することで目指す仕事の内容や、その仕事での将来像をイメージすることができます。もしみなさんの周りに進路選択の時期を迎えている方がいらっしゃれば、ぜひご参加いただけるようお誘いしてみてください。CANスカラシップ生をはじめとする在校生の参加者のみなさんも、ゲストの話をしっかりと聞き、今後に役立てていってもらえればと思います。

夏のスペシャルオープンキャンパス

第2弾

8/5
(土)

第3弾

8/26
(土)

福祉13:15～

電子14:00～

夏のスペシャルオープンキャンパス第1弾！
学校生活紹介～授業・実習について聞こう～

令和5年7月22日(土)実施

働くことを通して社会に貢献しながら夢を実現させるにはどのように取り組んでいったらよいか、3回の夏のスペシャルオープンキャンパスで学びを深められる内容で実施されます。

第1弾は、本学の学びや実習の内容について、在校生から直接知ることができる体験授業が行われました。



参加した高校生の声

- ・初めてということで少し不安な気持ちでしたが、明るい雰囲気でも迎えてくれたため、とても楽しく参加することが出来ました。
- ・保育所が近くにあること、教員とのコミュニケーションがとりやすいことに魅力を感じました。実習が充実しているところもよかったです。
- ・イントロドンやクイズなど参加型でとても楽しかったです。知れたことが知れたので、とても身になる時間でした。